



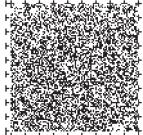
新とちぎ 未来創造 プラン 2026-2030

そ う ぞ う

とも つく ち いき かがや
共に創る 人も地域も輝く“元気なとちぎ”



とちぎけん
栃木県



音声コード Uni-Voice

このパンフレットには、音声コード「Uni-Voice」が印刷されています。スマートフォン専用アプリ等で読み取ると、音声で内容が確認できます。

とちぎの未来を みんなでつくる

どうがばん
動画版はこちる！

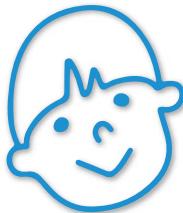


1

新とちぎ未来創造 プランってなに？

このプラン(計画)は、めざす栃木県の将来像を描き、
その実現に向けて、2026年度から5年間の目標や力を
入れて取り組むことをまとめた、県の大切な指針です。
県庁だけでなく、県民や企業、NPO※、団体など、地域
のみんなが同じ課題や価値観を共有し、未来に向かって
一緒に進むための共通の目標でもあります。

※NPOは、「Non-Profit Organization」の頭文字をとったもので、
「民間非営利組織」という意味です。一般的には、利益追求のためでは
なく、社会的な使命の実現や課題の解決を目指して活動する組織です。



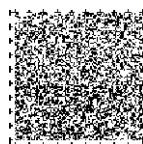
プラン(計画)は、めざす将来像にたどり着くための地図
でもあります。地図があると、こんないいことがありますね。

とちぎの 将来像

2
どうして
計画が必要
なの？

とちぎの未来をみんなでつくる

- 協力しやすい
みんなで同じ方向に進める。
- 迷わない
どこに行けばいいか、何をすればいいかがわかる。
- 時間をムダにしない
最短距離で行ける。効率よく進められる。
- うまくいったか確認できる
振り返りができる。



音声コード Uni-Voice

1

新とちぎ未来創造プラン

計画や地図はどうやって作るのか、整理してみましょう。
ゴールにたどり着くためには、次のステップが必要です。

3

どうやって作ったの？

スタート地点を知る（現状を知る）

まず「今どこにいるか」を確認します。

課題を知る：進むために乗り越えなければならないものは何？

強みを知る：使える道具や材料は何がある？

目的地を決める（ゴールを設定する）

次に「どこへ行きたいか」を決めます。

目的地が決まると、進む方向がはっきりします。

行き方を決める（やることを決める）

目的地までのルートを考えて決めます。

どんな方法で？どんな道順で？

よりよい計画にするには…

- ・色々な人の意見を聞いて取り入れよう
- ・ときどき、どこまで進んだのか確かめよう

まとめ

計画づくりは「地図づくり」と同じ。現在地 → 目的地 → ルート そしてアドバイスとふりかえり
これらをしっかりとやることで、目標達成がぐっと近づきます。

このプランも、同じように作られました。ゴールは、

「共に創る 人も地域も輝く“元気なとちぎ”」

課題（人口減少など）、強み（自然、産業など）を整理し、やることを「重点戦略」としてまとめました。さらに、専門家、県民の代表である県議会、そして県民の意見を聞いて作り上げました。

4

若者のこんな声を 計画に反映したよ

未来を担うみなさんも
とちぎをつくる主役であり
大切なメンバーです。

よりよい栃木県にするために、若者の
柔軟な発想や視点が必要です。

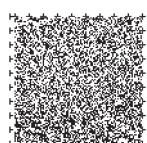
もっと若者の意見を
聞いて欲しい

子育てや勉強にかかる
負担を減らして欲しい

栃木県のいいところを
もっと発信して欲しい

移動が便利にできる
ようにして欲しい

働きたいと思える仕事を
増やして欲しい

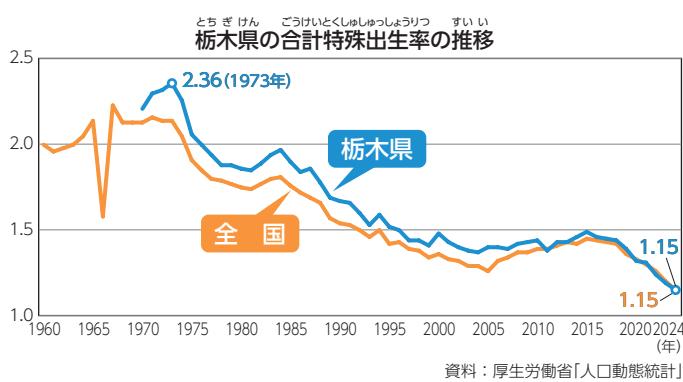
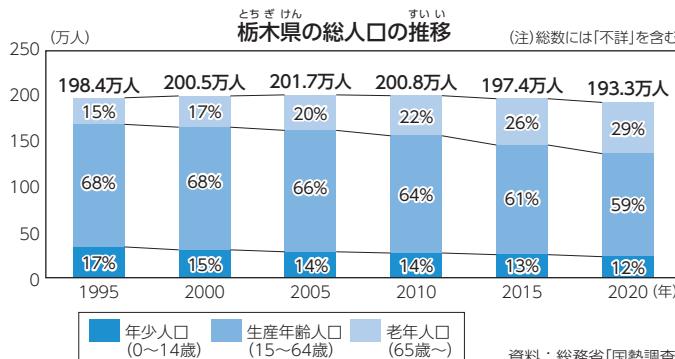


音声コード Uni-Voice

とちぎの今とこれから

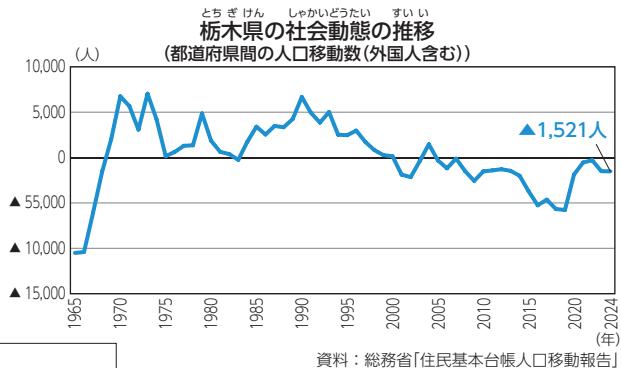
栃木県の人口

栃木県の総人口は2005年に約201万7千人で過去最高になりましたが、その後は減っています。また、65歳以上の割合が増えています。



「社会動態」

2005年以降は転出超過※の状況が続き、特に20代の女性の転出が多い状況です。



※転出超過：
地域から出していく人が、入ってくる人より多いこと

「自然動態」と「社会動態」

人口の増減には、自然動態と社会動態の二つの要因があります。

自然動態：生まれる人と亡くなる人の差
社会動態：人の移動による変化

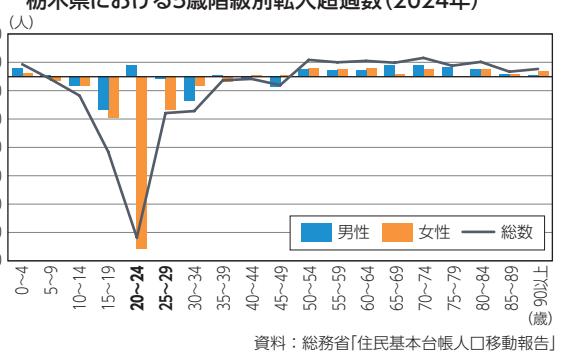
「自然動態」

合計特殊出生率※は1970年代中頃から低下傾向にあり、2024年は全国平均と同じ1.15となっています。

栃木県で1年間に生まれる子どもの数はこの10年で5,000人以上も減っているんだ！

(2015年15,306人→2024年9,262人)

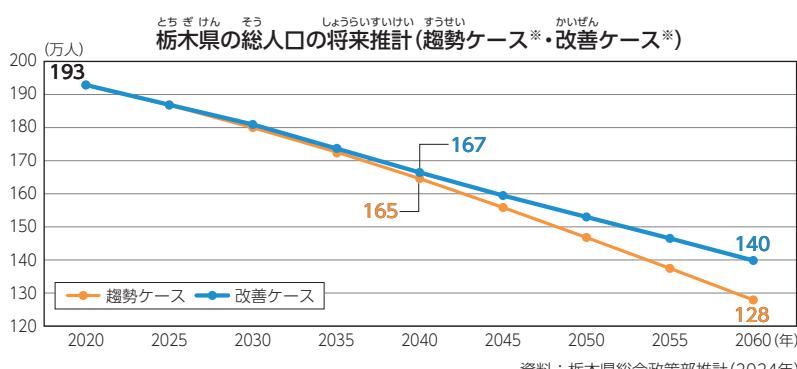
※合計特殊出生率：
1人の女性が一生のうちに産む子どもの平均の数(2.0程度無いと人口は減っていきます。)



特に東京都、埼玉県、神奈川県への転出が多いよ！



人口の将来の見通し



※趨勢ケース: 追加の対策を行わず、いまのままの流れが続く場合
※改善ケース: 対策によって状況がよくなると仮定した場合

とちぎけん しょうらい かつ
栃木県が将来にわたって活
りよく 力ある社会を維持するためには、
かくねんれいそう 各年齢層がバランスよくそろった、
こうぞう かくほ のぞ
人口構造を確保することが望ま
れます。

しゅっしょりつ こうじょう わかもの でんしゅつ
出生率の向上や若者の転出
ちゅうか かいじょう
超過の解消によって、2060年に
そそう かくほ
約140万人の総人口確保を目指
します。

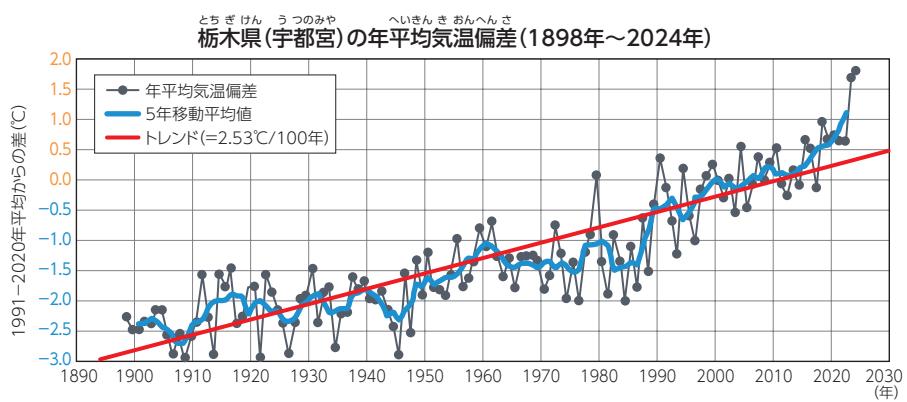
「栃木県人口未来会議」

とちぎけん かいぎ
人口減少対策には県全体で取り組むことが必要です。そこで、様々な分野の代表者が集まって、
人口減少を克服するための議論を行いました。会議の意見もこのプランに取り入れています。

社会の色々な変化

「気候変動」

とちぎけん うつのみや
地球温暖化が進んで
おり、栃木県(宇都宮)の
年平均気温は、過去100
年あたり約2.5℃上昇し
ています。



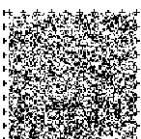
せいき このままでは、21世紀の終わりには、今より気温が約4.5℃もあがると予想されているんだ。
それを防ぐために、カーボンニュートラル*に向けた取組を進める必要があるよ。
それでも、気候変動の影響はもう始まっているから、暑さに強い作物を育てたり、
熱中症対策をするなど、適応していく対策も必要になるよ。



ちきゅうおんだんか げんいん にさんかたんそ
※カーボンニュートラル: 地球温暖化の原因である二酸化炭素などを私たちが出
ねっちゅうじょうたいさく てきおう たいさく ひつよう じっしつ
量と植物が吸収する量を同じにして実質ゼロにすること

「自然災害」

また、大雨の回数が増えていたり、大規模地震の発生も心配されるため、こうした災害への備えも必要になっています。



音声コード Uni-Voice

とちぎのいいところを知ろう

便利で安全

東京から近く、高速道路や新幹線が通っているので、**生活や仕事に便利です。**

また、関東で一番広い面積を持ち、鬼怒川・渡良瀬川・那珂川などの大きな川が流れていて、暮らしや産業に必要な**土地、水などの資源が豊富**です。さらに、大きな地震が少ないので、**安全で安心して暮らせる地域**です。



きよはらこうぎょうだんち
清原工業団地

自然の恵みと歴史・文化

豊かな**自然**があり、**様々な動植物**が息づいています。この自然は観光の魅力にもなっていて、日光や那須は**全国でも人気の観光地**です。

珍しい動植物もたくさん



ミヤコタナゴ



わたらせゆうすいち
渡良瀬遊水地



くらまち
藏の街

また、昔から人や物が行き来する**交通の要**で、世界遺産など**歴史ある**建物や文化が残っています。織物や陶器などの**伝統工芸**やお祭り、芸能も受け継がれています。



ロボットの活用



自動車製造

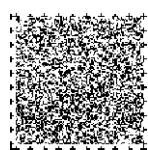
元気な産業と豊かな農業

自動車や航空、医療機器などの工場や会社が多くある「**ものづくりの県**」です。県民の所得も全国上位です。



とちぎ
いちご王国・栃木の日

1968年から55年以上にわたり**日本一の生産量**を誇る「**いちご**」をはじめ、米、にら、かんぴょうなど**多彩な農産物**が生産されています。生乳の生産量は北海道に次ぐ全国第2位で、酪農も盛んです。元気な産業と豊かな農業は、栃木県の強みのひとつとなっています。



音声コード Uni-Voice

新とちぎ未来創造プラン

ちいき 地域ごとのちがいと魅力

鹿沼・日光・塩谷地区

世界遺産と豊かな自然に恵まれ、観光資源が豊富な地区だよ。

人口: 約28万人 (県全体の15%)

主な産業: 食料品製造業

農業はにら・いちご・米・鶏卵

観光・文化: 日光の社寺、鬼怒川温泉、鹿沼組子、日光彌

那須・南那須地区

自然・温泉・農業が強みで、観光と食の魅力が詰まった地区だよ。

人口: 約25万人 (県全体の13%)

主な産業: 農業は生乳・米・鶏卵、農業産出額県内最大

製造業は電気機械器具

観光・文化: 那須高原、塩原温泉、古墳群や城跡、山あげ祭、烏山和紙

栃木・小山・両毛地区

首都圏へのアクセスが良く、製造業と歴史文化が共存する地区だよ。

人口: 約60万人 (県全体の31%)

外国人比率県内最大

主な産業: 輸送用機械器具製造業 (乗り物関連)を中心とした製品出荷額等

県内トップ

観光・文化: 足利学校、蔵の街、結城絹、渡良瀬遊水地

宇都宮地区

県中央に位置し、交通の中心になっていて、会社や工場も集まる地区だよ。

人口: 約64万人 (県全体の34%)

主な産業: 自動車・航空宇宙・ロボットなど

次世代モビリティ産業、多くの工業団地

観光・文化: 餃子、大谷石、宇都宮ジャパンカップサイクルロードレース

芳賀地区

製造業も農業も盛んで、いちごの一大産地。陶芸などの文化、自然、そしてレジャーも楽しめる地区だよ。

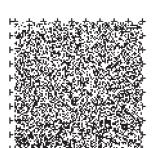
人口: 約14万人 (県全体の7%)

主な産業: 非鉄金属製造業

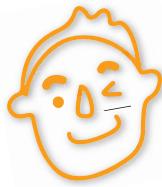
農業はいちご・野菜・鶏卵・米

観光・文化: 益子焼、真岡もめん、モビリティリゾートもてぎ、芝ざくら公園

自分の住んでいる地域をもっと調べてみよう
特産品は? 観光スポットは? 農業の主力品目は?
伝統工芸品は? お祭りは?
どうしたらよりよい地域になるかな?



音声コード Uni-Voice



とちぎのめざす 未来のすがた



じだい へんか ゆた あんしん く せだい つ
時代の大きな変化の中でも、豊かで安心して暮らすとちぎをつくり、次の世代へ引き継ぐため
に、今のとちぎを見つめ、強みを生かしながら、県民が希望と誇りを持てる未来をイメージして、めざ
すすがたを定めました。

とちぎの将来像

「共に創る 人も地域も輝く“元気なとちぎ”」

各分野の具体的な将来像

未来を担う人材が育ち、女性や若者が輝く「とちぎ」

どんな
未来?

こどもたちが自分のめざす未来を描ける
結婚や妊娠・出産、子育ての希望をかなえられる
女性・若者が活躍し、誰もが力を発揮できる

様々な産業が高い付加価値を生み出し、豊かさにつながる「とちぎ」

どんな
未来?

ものづくり・観光・農林業など多様な産業が成長する
誰もがいきいきと働ける環境がある
地域でお金を稼ぎ、豊かな生活を送ることができる

県民一人ひとりが健康に暮らし、希望を持てる「とちぎ」

どんな
未来?

住み慣れた地域で医療・福祉などのサービスを受けられ、健康的な生活習慣がある
子どもや高齢者、障害者、外国人など世代や背景を問わず、誰もが安心して暮らし、
活躍できる

すべての県民が安全・安心に生活できる「とちぎ」

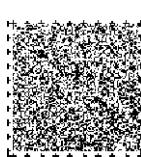
どんな
未来?

災害に強い地域、県土がある
地域全体で犯罪や交通事故から身を守る取組が進んでいる

未来に誇れる魅力に満ち、自然と共生する「とちぎ」

どんな
未来?

多くの人が栃木県の魅力を知り、訪れたい、住みたいと思っている
カーボンニュートラル実現に取り組み、自然を大切にしている
デジタルの力による便利な暮らしがある





とちぎの未来をつくるために



各分野の将来像を実現するために、5つの
重点戦略を定め、それぞれに3つずつのプロ
ジェクトを設定しています。

大きな目標を小さなステップに
分けるとやるべきことが
わかりやすいね。

未来を担う人材が育ち、女性や若者が輝く「とちぎ」

重点戦略1 人づくり戦略

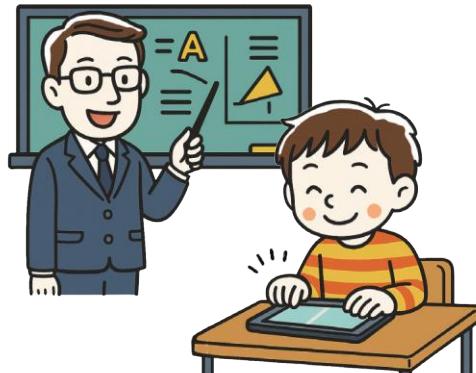
こどもぎゅーっとちぎ実現プロジェクト

結婚、妊娠・出産の希望をかなえ、喜びのある子育てを
支援し、社会全体でこどもたちを育てる環境をつくります。



◆こんな取組を進めています◆

・デジタル学習基盤を活用した授業



女性・若者活躍応援プロジェクト

働きやすさと働きがいを高め、性別や年齢による
思い込みや格差をなくし、若者を応援して、女性や
若者に選ばれる地域をつくります。

未来を拓く人材育成プロジェクト

こどもたちがそれぞれの豊かな可能性を伸ばし、幸せや生きがいを感じ、
多様な人々と協力しながら未来を描く力を育む教育を充実します。

様々な産業が高い付加価値を生み出し、豊かさにつながる「とちぎ」

重点戦略2 産業成長戦略

未来を築く産業創出・成長プロジェクト

最新技術の活用や企業の呼び込み、人材の
育成により、本県産業を活性化します。

元気に輝く農林業実現プロジェクト

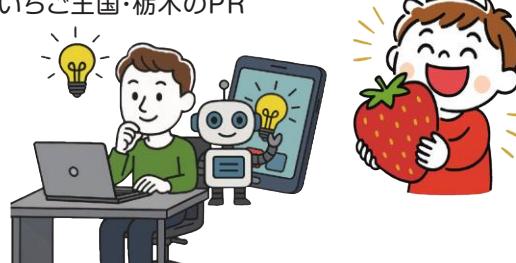
多様な人材が活躍できる環境を整え、新しい
技術で農業と林業を進化させ、生産者の稼ぐ力
を高めて、農林業の持続的な成長を目指します。

とちぎの魅力を生かした観光立県・国際戦略プロジェクト

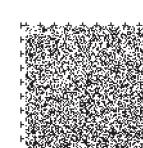
歴史や自然の魅力を生かした観光地をつくり、多くの観光客を呼び込み、企業の
海外展開や県産品の輸出を支援して地域を活性化します。

◆こんな取組を進めています◆

・スタートアップ企業※の支援
・いちご王国・栃木のPR



※スタートアップ企業：
新しいアイデアや技術で、社会を便利にする
サービスや商品を生み出す会社



音声コード Uni-Voice

とちぎの未来をつくるために



栃木県子ども総合科学館



わかものかいぎ
とちぎ若者会議



さいがいじ はけん
災害時に派遣するトイレカー

県民一人ひとりが健康に暮らし、希望を持てる「とちぎ」

とちぎの未来をつくるために

重点戦略3 健康・共生戦略

けんこうちゅうじゅ

健康長寿いきいきプロジェクト

けんこう よぼう
県民一人ひとりの健康づくりを広げ、病気の予防や
早期発見により、健康寿命を延ばします。

地域を支える医療・介護推進プロジェクト

ちいき いりょう かいご
地域における医療・介護をはじめとした体制の充実
により、県民が安心して暮らせる地域を実現します。

共に支え、共に生きる社会実現プロジェクト

ねんれい しょうがい こくせき
年齢や障害、国籍、性別に関係なく、共に支え合
い、安心して暮らし、活躍できる社会をつくります。

◆こんな取組を進めています◆

- きがるに運動ができる様々な機会づくり
- 日本人と外国人の相互理解の促進



すべての県民が安全・安心に生活できる「とちぎ」

重点戦略4 安全・安心戦略

き き かんり さいがい

危機管理・災害対応力強化プロジェクト

ぼうさいたいさく きょうか
防災対策を強化し、県民の防災意識を高め、災害
に強い地域と体制をつくります。

いのちと暮らしを守る県土づくりプロジェクト

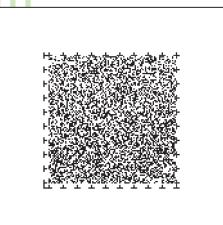
はし ひつよう し せつ
道路や橋など生活に必要な施設を整え、防災対策
を進め、命や暮らしを守ります。

みんなで創る安全・安心プロジェクト

はんざい こうつう じ こ しょうひしや
一人ひとりが犯罪や交通事故、消費者ト
ラブルから身を守る意識を高め、行動する
いしき
とともに、地域で支え合い、誰もが安心し
て、おだやかに暮らせる社会をつくります。

◆こんな取組を進めています◆

- はぐく ほうさいきょういく
自ら考え行動する力を育む防災教育の
じゅうじつ
充実



音声コード Uni-Voice



地域と連携した見守り活動



ツリークライミング体験

とちぎの未来をつくるために



未来に誇れる魅力に満ち、自然と共生する「とちぎ」

重点戦略5 地域・環境戦略

ふるさとの魅力創造プロジェクト

地域の文化・スポーツを活かすこと、大規模イベントを招くことなどで、人のつながりを広げ、地域を活性化し、とちぎへの愛着と誇りを育み、“訪れたい・住みたい・住み続けたいとちぎ”をつくります。

スマートで暮らしやすい「まち」づくりプロジェクト

地域ごとの拠点づくりと公共交通の充実により、誰もが暮らしやすい、にぎわいのあるまちをつくります。

次世代につなぐ環境立県プロジェクト

カーボンニュートラルを目指し、ごみを減らし、資源を大切に使う社会をつくり、そして豊かな自然を守り育て、次の世代へと引き継ぎます。

◆こんな取組を進めています◆

- ・無人自動運転移動サービス導入に向けた支援
- ・希少動植物種をはじめとする生態系の保全



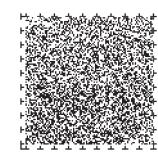
2030年の栃木県 2030年の自分 どんなすがたになっていたらうれしいかな?

その未来をかなえるためにどんなことができるか考えてみよう!

スタート地点

目的地

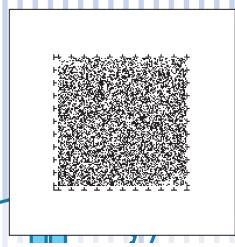
行き方



音声コード Uni-Voice

とちぎの未来をつくるために

新とちぎ 未来創造 プラン



音声コード Uni-Voice



編集発行／栃木県
〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20 総合政策部総合政策課
TEL 028-623-2206 FAX 028-623-2216 <https://www.pref.tochigi.lg.jp/>



令和8(2026)年2月

